

日本の海岸線を歩く会 報告書

報告者： 友松知宏

1. 計画の概要

地域分類	山陽2
計画区間	スタート地点：岡山県西大寺市宝伝港 ゴール地点：JR播州赤穂駅
実施期間	平成29年6月5日(月)～8日(木)
歩行距離	70.6Km

2. メンバー表 (メンバーの詳細情報は別紙に示すが、ホームページ等には載せない)

No.	役割・分担	氏名	ワケル期	備考(ワケルとの関係等)
1	L兼 記録	友松知宏	8期	

3. 歩行概要

	月日	出発地～到着地	歩行距離	コース外	備考(宿泊)
1	6/5	宝伝港=(犬島)=宝伝港～牛窓	7.7km		旅館とみ川
2	6/6	～大平山IC	19.0km	6.0Km	岡山いこいの村
3	6/7	～JR日生駅前	22.7km		旅館たまや
4	6/8	～JR播州赤穂駅	21.2km		
		合計	70.6Km	6.0Km	

4. 地図



5. 費用

交通費（JR、船賃）	12,120
交通費（オリーブ園タクシー）	2,100
宿泊費（3泊）	29,860
飲料	1,900
昼食・弁当	3,240
雑費（入館料等）	2,760
合計	51,980

6. 歩行詳細

6月5日 晴れ

06:27 JR 伯耆大山発＝岡山＝西大寺＝（バス）＝10:35 宝伝港 10:41＝（渡船）＝11:00 犬島港（島内観光）

宝伝港の待合で東京と静岡から来た母娘の3人組と親しくなり、犬島までご一緒。犬島港でお別れし夫々別行動するが、広くはない島なのでスポット毎に再会する。

島には明治政府の「富国強兵策」による精錬所の遺構が草のなかに残っており、往時の活況が偲ばれる。そこで一句「夏草や 強兵どもの 夢の跡」。

また直島とならびアートの島としても知られ、遺構とアートが一体化し、遺構そのものがアートの雰囲気のある島である。

一巡し、観光センターのレストランで昼食。3人の母娘は畳の席、私は一つだけあるテーブル席に。後から若い女性が入ってきてテーブル席を探しているようなので、手で相席を示すとうなずいて座り、食事をしながらお話。神奈川県から来て瀬戸内は初めてとのこと。思いがけぬ旅の楽しい出会い。メッセージに「おじ様と素敵なひと時」と書いてある。「い」の一文字を書き落としたり。



宝伝港で母娘3人連れと



精錬所遺構－1



精錬所遺構－2



レンガの遺構そのものがアート



古民家にアート



神奈川からの女性と素敵な一時

13:20 犬島港=（渡船）=13:40 宝伝港～14:45 西脇海水浴場～15:00 鹿忍～15:40 牛窓西
小学校～16:15 牛窓旅館とみ川 16:30=（タクシー）=16:50 牛窓オリーブ園 17:20～
18:30 旅館とみ川（泊り）

鹿忍（かしの）干拓地の陸のはずの
ところが湖面で、水上にペンションらし
い家が建ち並んでいる。棧橋がないので
船で渡るのだろうと、さすが瀬戸内は違
うと感じ入ったが、湖岸の庭を手入れを
している人に尋ねたところ、雨水を排水
できず、湖になってしまい、ペンション
は廃業したとのこと。何とも気の毒な話である。



鹿忍／湖面に浮かぶペンション村

とみ川でタクシーを呼んでもらい、
山の上のオリーブ園に行く。出発前に友
人のチャーチル会米子の幹事長のK氏か
らオリーブ園を描いた油絵（50号）を
もらったばかりで、絵に描かれた通りの
景色を眺め、なるほどと感心。



牛窓オリーブ園風景

閉店間際の売店で「日本で第2」と
ビラ書きされたソフトクリームを買って
舐めながら園の細道を下る。少し予定外
の場所に下りてしまったが、旅館に無事帰館した。

6月6日 曇り

8:20 旅館とみ川発～9:10 牛窓神社～10:20 海尻（岡山県の施設敷地）～12:20 知尾公民館
前～12:30 福谷（県道分岐点で踏み跡道に迷い込む）～13:10 行きどまり（昼食）～14:00 分岐点
に戻る～14:40 開口港～15:40 県道 465 分岐～16:40 大平 I C 入口～17:05 県道 465 分岐
へ戻る～18:00 岡山いこいの村（泊り）

予定より 20 分遅れで宿を出発。昔の風情が残る旧道を歩く。牛窓は日本のエーゲ海と云
われマリンスポーツのメッカであるが、「唐琴どおり」の地名（中国との交流があったことが
偲ばれる）や伝統や古い風習を大切にする街である。

しばらく行くと牛窓神社の参道があり、石段を登ると社殿。神功皇后、応神天皇他を祭る
県社である。本殿脇を通過して、裏に抜けると県道にでる。



牛窓の街並（唐琴通り）



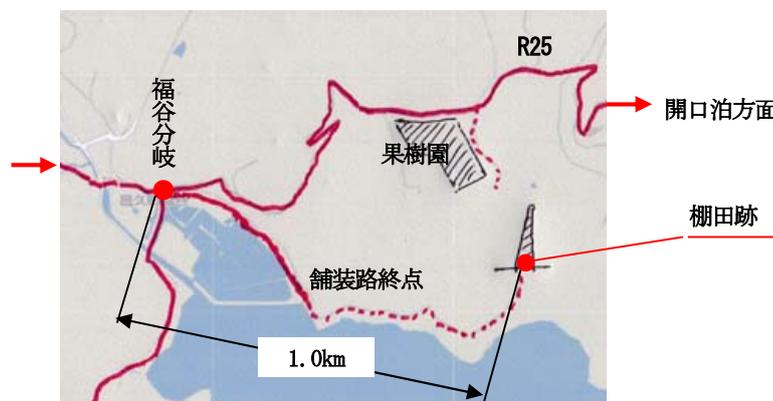
牛窓の町家



牛窓神社本殿

福谷で地図にない道に迷い込み、2kmほどロス。YAHOO 地図の900mレンジを携行し、いつもは出発前に100mレンジで細部を確認するのだが、今回は多忙で確認しなかったのが失敗の原因である。

正しくは道が3本に分かれて一番左手を行かなければならないのを、携行地図のとおり二又路と思い込み、右へ行かないようにと右に気をとられ、真ん中の道に入ってしまった。しばらくして舗装がなくなり踏み跡道になって間違いに気づいたが、先で合流するだろうとそのまま強行。足跡もかすかになり、最後は茨に覆われた石垣が立ちふさがり進むことが出来なくなった。鹿の糞があり、どうやら獣道をたどったらしい。石垣のうえが棚田の跡らしく、その上方200mほどに正しい道がありそうで石垣を登りかけたが自制。残った弁当を食べ、一息入れた。どうやら1Kmほど入ってしまったらしい。藪漕ぎに未練もあったが、戻ることにする。20分ほどで分岐点にもどる。やはり左方向への道があり、道路標識のプレートもあった。



約1時間遅れで、虫明の県道465分岐点到着。道端の機材置き場の隅に荷物を隠し、空身で岡山ブルーラインの大平山IC入り口を往復。18時岡山いこいの村(標高148m)に到着。迷い道往復2kmと大平山ICからいこいの村までの4kmはコース外として、歩行距離から外す。人との出会いはなかったが、季節のいろんな花や、牛に出会った。



馬鈴薯の花



牛窓の牛

6月7日 雨

8:00=(送迎車)=8:10大平山IC~9:20鶴海入江橋~11:00総合運動公園 11:15~12:50松本橋~13:00西片上レストラン休庵(昼食) 13:40~14:20藤原啓記念館(見学)15:30~17:15備前木生(セブンイレブン)~18:30日生旅館たまや(泊り)

いこいの村から車で大平山ICまで送ってもらう。雨がかなり強い。途中鶴海、総合運動公園で休憩、西片上の市民センター前のレストラン「一休」で食事。備前焼きの人間国宝、藤原啓記念館に立ち寄る。

記念館は改装中で休館中であるが、館の入り口に「希望者は連絡する」ようにと張り紙が

あり、電話をすると女性二名が出てきてドアを開けてくれる。ずぶ濡れなので断られはしないかと心配したが、どうぞと招き入れてくれる。

「自分たちも勉強なので、よかったら二人で案内します」とのこと。願ってもないことで、1時間半ほど本館と絵画展示の東館を案内してもらった。今年の新人らしく説明は少し覚束ないが、脱線するのが面白く、すっかり打ち解けて、雨に祟られたことをすっかり忘れてしまった。



藤原啓記念館の学芸員のお二人

予定より1時間半遅れで日生駅前の旅館たまやに到着。全身水漬けで、廊下に水をまき散らしながら風呂場へ直行。風呂で体を温め、ぜんぶ着替える。その間に脱いだものを女将が洗濯してくれ、ハンガーと一緒に部屋に届けられていた。

遅くなったので干すのは後回しにして、早速食事にしてもらう。

厨房の隣の部屋で、家の団欒の間の雰囲気。給仕をしながら、メッセージを食卓で書いてくれる。アナゴの白焼きがでてきたので、廿日市を歩いた時に、名物のアナゴ飯を食べ損ねた話をする。皿を下げて、アナゴ飯に造り変えてくれた。アナゴ飯は、姫路でも食べ損ねており、長年の食べ物の恨みをはらした。

9時過ぎに食事もすんだので、部屋に立とうとすると、(隣に住んでいる)お義父さんがやってきて、また座りなおす。旅館の創設者で85歳。私より若く見える。観光ビデオをつくるのが趣味でTVなどでも放送されるとのこと。ビデオを見ながら、土地のことなどをお聴きした。



たまやのご一家と深夜まで

11時まで歓談し部屋に引き上げた。昼間の疲れでバタンキュー。3時過ぎに眼がさめたら、洗濯物はそのまま、部屋は散らかし放題。洗濯物を衣桁や鴨居に下げ、玄関に投げた靴を持ってあがり、トイレトペーパーなどで水気をとり、エアコンの風の通り道にぶら下げ、4時就寝。

6月8日 曇り

7時に電話がなり、女将が出発までの時間、島を案内するという。前夜、出発前に近くをぶらつきたいと言ったので、そのようなことを思いつかれたらしい。有難くご厚意に甘えることにする。急いで服に着替え、軽トラで出発。日生大橋を渡り、鹿が棲むという鹿久居島と古代の歴史が残る頭島をドライブ。その後、日生の「港が見える丘公園」を案内してもらった。

展望台で、毎朝登ってくるという方に声をかけられる。御歳92歳。カメラを構えると、愛の鐘を鳴らしてくれる。別れて後ろを振り向くと、重そうなこん棒で素振りをしている。脱帽。



鹿久居島から備前日生大橋



頭島・展望台入口にて



92歳の青年／愛の鐘をならす

日生 9:40～10:15 寒川海岸（鹿の足跡）～11:15 兵庫県境～12:35 備前福川駅まえ公園
（昼食）13:45 天和駅前～14:05 石崎橋～15:00 片浜町（主婦の店）～15:40JR 播州赤穂駅
16:36＝JR 岡山駅＝20:25 伯耆大山駅

朝のドライブでかなり遅れて出発。わき目をふらず、ひたすら歩く。寒川の海岸を歩いていると、砂地に鹿の足跡がついている。数頭の家族連れらしく、時々立ち止まってはまた歩き、駐車している車の脇を通りぬけ、民家のすぐ近くまで足跡は続いた。

11:15 兵庫県に入る。この後、福浦でもう一度道を間違え、福川駅を迂回するコースをとり、2kmほど遠回りした。地図の上でも分かりづらい場所ではあったが、曇りで方角をつかめず、45度ほど方向違いに歩いてしまった。やはり事前のチェックが足りないのがすべての間違いのもとである。

赤穂市内に入ってから、地図の情報不足から無駄足をふみ、15:40JR 赤穂駅に到着。時間があれば赤穂市内を観光する予定であったが、前日の睡眠不足もあり、観光せず、帰宅することにした。



寒川海岸に鹿の足跡



兵庫県県境付近



J R 播州赤穂駅

7. メッセージ

別 紙

以上